

目 次

はしがき

凡例

第1編 犯罪の動向

第1章 刑法犯	2
第1節 主な統計データ	2
1 認知件数と発生率	3
2 検挙人員	5
3 検挙率	6
コラム1 刑法犯以外も含めた犯罪の全体像を捉えるための試み	7
第2節 主な刑法犯	9
1 窃盗	10
2 強制性交等・強制わいせつ	12
3 その他の刑法犯	14
第2章 特別法犯	21
第1節 主な統計データ	21
第2節 主な特別法犯	23
第3章 諸外国における犯罪動向	25
第1節 諸外国における犯罪	25
1 殺人	25
2 強盗	26
3 窃盗	26
4 性暴力	28
第2節 国外における日本人の犯罪	28

第2編 犯罪者の処遇

第1章 概要	30
1 新規立法の動向	31
2 法テラスの活動	32
第2章 検察	33

第1節	概説	33
第2節	被疑事件の受理	34
第3節	被疑者の逮捕と勾留	35
第4節	被疑事件の処理	36
第3章	裁判	39
第1節	概説	39
第2節	確定裁判	40
第3節	第一審	40
1	終局裁判	40
2	科刑状況	42
3	裁判員裁判	44
4	即決裁判手続	47
5	公判前整理手続	47
6	勾留と保釈	48
第4節	上訴審	49
第4章	成人矯正	51
第1節	概説	51
1	刑事施設等	51
2	刑事施設における処遇	51
第2節	刑事施設の収容状況	51
1	刑事施設の収容人員	51
2	刑事施設の収容率	52
3	入所受刑者	53
4	出所受刑者	55
第3節	受刑者の処遇等	57
1	処遇の概要	57
	コラム2 若年受刑者に対する処遇の充実	59
2	作業	62
3	矯正指導	63
4	就労支援	65
5	福祉的支援	65
6	受刑者の釈放等に関する情報の提供	66
第4節	刑事施設の運営等	66
1	刑事施設視察委員会	66
2	給養・医療・衛生等	66
3	民間協力	67
4	規律・秩序の維持	67
5	不服申立制度	68
第5節	未決拘禁者等の処遇	68
第6節	官民協働による刑事施設等の整備・運営	69
第5章	更生保護	70

第1節	概説	70
1	更生保護における処遇	70
2	更生保護の機関	70
第2節	仮釈放等と生活環境の調整	70
1	仮釈放等	70
2	生活環境の調整	73
第3節	保護観察	74
1	保護観察対象者の人員等	74
2	保護観察対象者に対する処遇	78
3	保護観察対象者に対する措置等	84
4	保護観察の終了	84
第4節	応急の救護・更生緊急保護の措置等	85
第5節	恩赦	87
第6節	保護司、更生保護施設、民間協力者等と犯罪予防活動	87
1	保護司	87
2	更生保護施設	88
3	自立準備ホーム	90
4	民間協力者及び団体	91
5	更生保護協会等	92
6	犯罪予防活動	92

第6章 刑事司法における国際協力 93

第1節	刑事司法における国際的な取組の動向	93
1	京都 kongress の成果の具体化	93
2	国際組織犯罪対策及びテロ対策	95
3	薬物犯罪対策	95
4	マネー・ローンダリング対策	96
5	汚職・腐敗対策	96
6	サイバー犯罪対策	97
7	国際刑事裁判所	97
第2節	犯罪者の国外逃亡・逃亡犯罪人の引渡し	98
1	犯罪者の国外逃亡	98
2	逃亡犯罪人の引渡し	98
第3節	捜査・司法に関する国際協力	99
1	捜査共助	99
2	司法共助	99
3	刑事警察に関する国際協力	99
第4節	矯正・更生保護分野における国際協力	100
1	国際受刑者移送	100
2	矯正・更生保護に関する国際会議	101
第5節	刑事司法分野における国際研修・法制度整備支援等	101
1	国連アジア極東犯罪防止研修所における協力	101
2	法制度整備支援	102
3	矯正建築分野における協力	102

第3編 少年非行の動向と非行少年の処遇

第1章 少年非行の動向	104
第1節 少年による刑法犯	104
1 検挙人員	104
2 属性による動向	105
3 罪名別動向	108
4 共犯事件	109
第2節 少年による特別法犯	110
1 検挙人員	110
2 薬物犯罪	111
3 交通犯罪	112
第3節 ぐ犯少年	113
第4節 不良行為少年	114
第5節 家庭と学校における非行	115
1 家庭内暴力	115
2 校内暴力	116
3 いじめ	116
第2章 非行少年の処遇	117
第1節 概要	117
1 少年法等の改正について	118
2 家庭裁判所送致までの手続の流れ	118
3 家庭裁判所における手続の流れ	119
4 保護処分に係る手続の流れ	120
第2節 検察・裁判	121
1 検察（家庭裁判所送致まで）	121
2 家庭裁判所	121
第3節 少年鑑別所	124
1 概説	124
2 入所・退所の状況	124
3 鑑別	127
4 観護処遇	128
5 非行及び犯罪の防止に関する援助	129
第4節 少年院	130
1 概説	130
2 少年院入院者	130
3 少年院における処遇	134
コラム3 少年法等の改正後の少年院における処遇の実際について	137
4 出院者	140
5 少年院の運営等	141
第5節 保護観察	143

1	概説	143
2	少年の保護観察対象者	143
3	少年の保護観察対象者に対する処遇	145
4	少年の保護観察対象者に対する措置	148
5	少年の保護観察の終了	149
	コラム4 少年の保護観察対象者への就労支援の取組	150
第3章 少年の刑事手続		152
第1節	概要	152
1	起訴と刑事裁判	152
2	刑の執行	152
3	仮釈放	152
第2節	起訴と刑事裁判	153
1	検察庁での処理状況	153
2	通常第一審の科刑状況	154
第3節	少年の受刑者	155

第4編 各種犯罪の動向と各種犯罪者の処遇

第1章 交通犯罪		158
第1節	交通犯罪関係法令の改正状況	158
1	自動車運転死傷処罰法	158
2	道路交通法	158
第2節	犯罪の動向	159
1	交通事故の発生動向	159
2	過失運転致死傷等・危険運転致死傷	161
3	ひき逃げ事件	163
4	道交違反	164
第3節	処遇	165
1	検察	165
2	裁判	167
3	矯正	169
4	保護観察	169
第2章 薬物犯罪		170
第1節	犯罪の動向	170
1	覚醒剤取締法違反	170
2	大麻取締法違反等	172
3	危険ドラッグに係る犯罪	173
第2節	取締状況	174
1	覚醒剤等の押収量の推移	174

2	密輸入事案の摘発の状況	175
3	麻薬特例法の運用	176
第3節	処遇	177
1	検察・裁判	177
2	矯正	178
3	保護観察	180
第3章	組織的犯罪・暴力団犯罪	181
第1節	組織的犯罪	181
第2節	暴力団犯罪	181
1	組織の動向	181
2	犯罪の動向	182
3	処遇	186
第4章	財政経済犯罪	189
第1節	税法違反	189
第2節	経済犯罪	190
第3節	知的財産関連犯罪	193
第5章	サイバー犯罪	194
第1節	概説	194
第2節	不正アクセス行為等	195
第3節	その他のサイバー犯罪	196
第6章	児童虐待・配偶者からの暴力・ストーカー等に係る犯罪	197
第1節	児童虐待に係る犯罪	197
第2節	配偶者からの暴力に係る犯罪	198
第3節	ストーカー犯罪等	200
1	ストーカー犯罪	200
2	私事性的画像被害に係る犯罪（リベンジポルノ等）	203
第7章	女性犯罪・非行	204
第1節	犯罪・非行の動向	204
第2節	処遇	206
1	検察	206
2	矯正	207
3	保護観察	211
第8章	高齢者犯罪	213
第1節	犯罪の動向	213
第2節	処遇	216
1	検察	216
2	矯正	217
3	保護観察	219

第9章 外国人犯罪・非行	220
第1節 外国人の在留状況等	220
1 外国人新規入国者等	220
2 不法残留者	220
3 退去強制	220
第2節 犯罪の動向	221
1 刑法犯	221
2 特別法犯	223
第3節 処遇	224
1 検察	224
2 裁判	226
3 矯正	227
4 保護観察	227
第4節 外国人非行少年の動向と処遇	228
1 外国人犯罪少年の動向	228
2 外国人非行少年の処遇	229
第10章 精神障害のある者による犯罪等	230
第1節 犯罪の動向	230
第2節 処遇	230
1 検察・裁判	230
2 矯正	230
3 保護観察	231
4 精神保健福祉法による通報	231
第3節 心神喪失者等医療観察制度	232
1 審判	232
2 指定入院医療機関による医療	233
3 地域社会における処遇	234
第11章 公務員犯罪	235

第5編 再犯・再非行

第1章 再犯防止推進法に基づく再犯防止施策	238
1 再犯防止推進法及び再犯防止推進計画	238
2 再犯防止施策の取組状況	238
第2章 再犯・再非行の概況	239
第1節 検挙	239
1 刑法犯により検挙された再犯者	239
2 刑法犯により検挙された20歳以上の有前科者	240

3	薬物犯罪により検挙された20歳以上の同一罪名再犯者	242
第2節	検察・裁判	243
1	起訴人員中の有前科者	243
2	全部及び一部執行猶予の取消し	245
第3節	矯正	246
1	再入者	246
2	出所受刑者の再入所状況	248
3	出所受刑者の再入率の推移	251
4	再入者の再犯期間	253
第4節	保護観察	253
1	保護観察開始人員中の有前科者	253
2	保護観察対象者の再処分等の状況	255
第5節	少年の再非行・再犯	259
1	少年の再非行	259
2	保護観察処分少年及び少年院入院者の保護処分歴	260
3	少年院出院者の再入院等の状況	261
4	少年の保護観察対象者の再処分の状況	263

第6編 犯罪被害者

第1章	統計上の犯罪被害	266
第1節	被害件数	266
第2節	生命・身体への被害	268
第3節	性犯罪被害	269
第4節	財産への被害	269
第5節	被害者と被疑者の関係	270
第6節	国外における日本人の犯罪被害	271
第2章	刑事司法における被害者への配慮	272
第1節	刑事手続における被害者の関与	272
1	被害申告及び告訴	272
2	起訴・不起訴等に関する被害者等への通知	272
3	不起訴処分に対する不服申立制度	273
4	公判段階における被害者等の関与	275
5	矯正・更生保護段階等における被害者等の関与	277
6	少年事件における被害者等への配慮	278
7	法テラスによる被害者等に対する支援	279
8	地方公共団体における被害者支援に向けた取組	280
第2節	犯罪被害者等に対する給付金の支給制度等	281
1	犯罪被害給付制度	281
2	国外犯罪被害弔慰金等の支給制度	281

3	被害回復給付金支給制度	281
4	被害回復分配金支払制度	281
5	自動車損害賠償保障制度	281
6	地方公共団体による見舞金制度等	282
第3節	人身取引被害者保護	282

第7編 新型コロナウイルス感染症と刑事政策

第1章	はじめに	284
第2章	コロナ禍における社会情勢	285
1	新型コロナウイルス感染症に関連する主な社会の出来事	285
2	新型コロナウイルス感染症感染者数等の推移	286
3	新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言期間等の推移	288
4	新型コロナウイルス感染症感染拡大下における人流の動向	290
第3章	コロナ禍における犯罪の動向等	292
第1節	新型コロナウイルス感染症に関連する犯罪等	292
1	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に便乗した犯罪	292
2	新型コロナウイルス感染症の感染拡大下における経済対策として 新設された制度を悪用した犯罪	293
3	新型コロナウイルス感染症対策に係る国民生活安定緊急措置法違反	295
4	その他新型コロナウイルス感染症に関連する犯罪	295
第2節	主要な犯罪の動向	296
1	刑法犯認知件数の推移	296
2	交通事故の発生状況等の推移	306
3	少年による刑法犯	308
	コラム5 新型コロナウイルス感染症の感染拡大下での諸外国における 犯罪動向等	311
第3節	特に注目すべき犯罪の動向	315
1	特殊詐欺	315
2	サイバー犯罪	316
3	児童虐待・配偶者からの暴力	317
4	薬物犯罪	319
5	来日外国人犯罪	320
第4章	刑事司法の各段階における新型コロナウイルス感染症の影響・対策	323
第1節	検察	323
1	コロナ禍における検察の処遇状況	323
2	感染症予防・感染拡大防止策	324
第2節	裁判	325

1	コロナ禍の影響	325
2	感染症予防・感染拡大防止策	326
第3節	矯正	327
1	感染症予防・感染拡大防止策	327
	コラム6 矯正施設における新型コロナウイルス感染症対策	328
	コラム7 米国の刑務所等における被収容者の新型コロナウイルスへの感染状況等	330
2	コロナ禍における処遇等	331
第4節	更生保護	332
1	感染症予防・感染拡大防止策	332
2	コロナ禍における処遇等	332
	コラム8 新型コロナウイルス感染症の感染拡大下における更生保護の実践例	333
	コラム9 英国におけるコロナ禍での社会内処遇の実施状況等	336
第5章	まとめ	338
第1節	コロナ禍における犯罪の動向等	338
1	新型コロナウイルス感染症に関連する犯罪の発生	338
2	主な犯罪の動向	338
3	特に注目すべき犯罪の動向	339
第2節	刑事司法の各段階における新型コロナウイルス感染症の影響・対策	340
1	検察	340
2	裁判	340
3	矯正	341
4	更生保護	341
第3節	コロナ禍における犯罪の動向と犯罪者処遇の経験等を踏まえた犯罪予防策、処遇の在り方等	341
1	コロナ禍における犯罪の動向等を踏まえた犯罪予防策	341
2	コロナ禍における犯罪者処遇の経験を踏まえた処遇の在り方等	342

第8編 犯罪者・非行少年の生活意識と価値観

第1章	はじめに	344
第2章	近年の社会情勢や国民の意識の変化	346
1	人口・経済等の変化	346
2	家族関係の変化	348
3	交友関係の変化	349
4	学校生活の変化	350
5	就労状況の変化	352
6	地域との関わりの変化	354

7	日常生活・自己意識の変化	356
第3章	年齢層、犯罪・非行の類型及び進度に着目した犯罪者等の動向	360
第1節	検挙	360
1	検挙人員の推移	360
2	検挙された者の犯行の動機	362
3	20歳以上の検挙された者の前科の有無の構成比	362
第2節	検察・裁判	363
1	検察	363
2	裁判	366
第3節	矯正	368
1	刑事施設	368
2	少年鑑別所	374
3	少年院	377
第4節	保護観察	379
1	仮釈放率の推移	379
2	保護観察対象者の動向	379
3	保護観察対象者の特徴	382
	コラム10 周囲の支援等を受け、対象者の意識に変化が認められた事例	392
第4章	特別調査	395
第1節	調査の概要	395
1	調査の対象者	395
2	調査の概要	397
第2節	年齢層の違いによる比較	397
1	周囲の環境に対する意識	397
2	自分に関する意識	405
3	犯罪・非行に対する意識	409
	コラム11 男女の違いによる比較	413
第3節	犯罪・非行類型の違いによる比較	415
1	周囲の環境に対する意識	415
2	自分に関する意識	422
3	犯罪・非行に対する意識	425
4	非行少年について	430
第4節	犯罪・非行の進度の違いによる比較	430
1	周囲の環境に対する意識	430
2	自分に関する意識	435
3	犯罪・非行に対する意識	437
4	非行少年について	441
第5節	前回までの調査との比較	441
1	周囲の環境に対する意識	441
2	自分に関する意識	447
3	犯罪・非行に対する意識	449

第5章 おわりに	453
第1節 近年の社会情勢や国民の意識の変化	453
1 人口、家庭生活、交友関係等の変化	453
2 学校生活、就労等の変化	453
第2節 犯罪者・非行少年の動向等	453
1 検挙状況等	453
2 処理状況等	454
3 矯正	454
4 更生保護	455
第3節 犯罪者・非行少年の生活意識と価値観の特徴等を踏まえた処遇の 在り方等	455
1 年齢層の違いによる特徴とそれを踏まえた処遇の在り方等	455
2 犯罪・非行類型の違いによる特徴とそれを踏まえた処遇の在り方等	456
3 犯罪・非行の進捗の違いによる特徴とそれを踏まえた処遇の在り方等	458
4 まとめ	459
事項索引	461